

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名             |    | 公表日 2025年1月14日                                                                                                                                       |    |     |                                                                                                 |                                            |
|------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 放課後等デイサービス ディライト |    |                                                                                                                                                      |    |     |                                                                                                 |                                            |
|                  |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい | いいえ | 工夫している点                                                                                         | 課題や改善すべき点                                  |
| 環境・体制整備          | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | 6  | 1   | フロアや活動内容によって過ごす場所を変えている。                                                                        |                                            |
|                  | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | 7  |     | 個別対応が必要な児童に対して配置をした上で全体での配置も十分に見守れるよう配置しております。                                                  |                                            |
|                  | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | 6  | 1   |                                                                                                 | 段差や階段がある為設置可能な所にはスロープ等の設置は必要。              |
|                  | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | 5  | 2   | 毎日清掃と消毒は実施しており、除湿器や空気清浄機等も設置している。<br>建物の老朽化により床下に水が貯まり湿度が高い事があった。工事を施工し改善している。                  |                                            |
|                  | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | 7  |     | 児童の情緒が不安定な場合は様々な刺激を軽減してもらう為個室や学習や工作に取り組むための個室等もあります。                                            |                                            |
| 業務改善             | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | 7  |     |                                                                                                 |                                            |
|                  | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | 7  |     |                                                                                                 |                                            |
|                  | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | 7  |     | 職員からの意見に対して全体で改善につながるよう考える機会はある                                                                 | 個別での聞き取りを行う機会を増やしていく。                      |
|                  | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     | 1  | 6   |                                                                                                 | 事業所同士での関係を作り互いに評価を行う機会を作る。                 |
|                  | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                    | 7  |     | 定期的な研修会を開催したり、必要に応じて外部研修に参加し伝達研修等を実施している。                                                       |                                            |
| 適切な              | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | 5  | 2   |                                                                                                 | 従業者自己評価の実施時は作成中だったが、自己評価シートを公表と同時にHPに公表する。 |
|                  | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | 7  |     | 子ども課題点や成長点を各職員で共有を行い、モニタリング時に計画に反映している。また保護者との面談の機会も設けてニーズに聞き取りなど工夫している。                        |                                            |
|                  | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | 7  |     | モニタリングでは複数の職員で行い確認をしながら作成に当たっている。                                                               | 非常勤勤務の職員に対して新計画書に目を通す時間を作るよう配慮していく。        |
|                  | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | 7  |     |                                                                                                 |                                            |
|                  | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | 6  | 1   |                                                                                                 |                                            |
|                  | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7  |     | 「本人支援」では具体的かつ本人の特性に合わせた計画内容を作成しており、また「家族支援」では保護者との面談を実施している。「地域支援・地域連携」では学校や他の事業所との情報共有等を行っている。 |                                            |
|                  | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | 7  |     |                                                                                                 |                                            |

|                                                          |    |                                                                                    |   |   |                                                                                                         |                             |
|----------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 支<br>援<br>の<br>提<br>供                                    | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                           | 7 |   | 全職員で割り振りをを行い。様々な職員の個性やアイデアを出しながら様々な面で成長や経験に繋がるよう立案をしている。                                                |                             |
|                                                          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 7 |   | 個別活動や個別課題など子どもの特性等に合わせ計画を作成支援を行っている。<br>また集団活動では参加が難しい子どもも様々な形(職員の手伝いなど)で参加として捉えて集団で同じ環境で居られるよう支援をしている。 |                             |
|                                                          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 7 |   | その日の集団活動の支援内容の打ち合わせや活動の流れなど午前中に話し合いチームとして連携を取っています。                                                     |                             |
|                                                          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 7 |   | 支援終了後の振り返り等は翌日の午前中に共有を行っている。                                                                            |                             |
|                                                          | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                             | 7 |   |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 7 |   |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 7 |   |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 7 |   |                                                                                                         |                             |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 7 |   |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 6 | 1 | 各関係機関と連携して支援を行っている。また必要に応じて協力依頼や保護者に対してニーズのある福祉サービスの停廃も行っている。                                           |                             |
|                                                          | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 7 |   |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 6 | 1 |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 6 | 1 |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 5 | 2 |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                             | 5 | 2 |                                                                                                         |                             |
|                                                          | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                            | 1 | 6 |                                                                                                         | 協議会等への参加は職員配置が整い次第参加していきたい。 |
|                                                          | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 7 |   | 送迎時の申し送りや面談の場を設けて児童の発達状況や課題、成長面を共有している。                                                                 |                             |
|                                                          | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | 2 | 5 | 支援プログラムとしての取り組みではないが、保護者のニーズや児童の状況に応じて面談を実施し家庭内での児童に対する支援の助言を行っている。                                     |                             |
|                                                          | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                               | 7 |   | 利用契約の際に時間に余裕を持ち一つ一つ説明を行い、都度不明点が無いか聞き取りながら説明を行っている。                                                      |                             |
|                                                          | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 |   | 契約時と定期的に保護者よりアセスメントを行い現状の課題点や伸ばしたい点などを計画に取り入れている。                                                       |                             |

|                                      |    |                                                                                            |   |   |                                                                      |                                                                 |
|--------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 7 |   | 内容の説明を行い不明点等があれば聞き取り、必要に応じて修正をしてから再度説明などを行っている。                      |                                                                 |
|                                      | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                              | 7 |   | 悩みに対して内容や状況に応じて場を設けている。また保護者の環境なども考慮して様々な観点からの助言を行っている。              |                                                                 |
|                                      | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 5 |                                                                      | 保護者会などの交流する場を設ける機会はまだ作れていない為、今後保護者から要望など聞き取りを行った上で必要に応じて対応していく。 |
|                                      | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 7 |   | 保護者からの苦情に対しては管理者や代表と方針を迅速に決めて職員に周知をした上で対応をして保護者にも対応内容を伝えるなどしている。     |                                                                 |
|                                      | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 2 | 5 |                                                                      |                                                                 |
| 非<br>常<br>時<br>等<br>の<br>対<br>応      | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 6 | 1 |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 6 | 1 |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 7 |   |                                                                      |                                                                 |
|                                      | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 5 | 2 | 現状身体拘束の必要性のある児童は居ないが、必要性が出た場合のマニュアル等はある。新規の職員が入社した場合等に十分な周知は必要だと感じた。 | ・身体拘束が必要な児童が居ない為、触れる機会が少ない。                                     |